

令和5年9月29日

5年生の保護者のみなさまへ

河内長野市立南花台小学校
校長 阪上 浩昭

令和5年度すくすくウォッチの結果について

錦秋の候、保護者のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育のためにご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、4月21日(金)に実施しました、令和5年度すくすくウォッチの結果について分析(成果と課題)及び取組みをご報告させていただきます。

《基本的な考え方》

すくすくウォッチは、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とし、子どもたちに各教科の学力に加え、言葉の力や文章や情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われる粘り強さや好奇心などを育む、大阪府としての取組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ること、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。

《調査結果の取扱い》

◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取組みを進めていきます。

《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊心と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子さまの伸びや課題を知り、まずはお子さまの良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張ることで克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子さまの学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

□調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないように、その取扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。

令和5年度 すくすくウォッチの分析

河内長野市立南花台小学校5年生

すくすくウォッチについて

○国語

概要

本校の平均正答率は、府の平均より1.5%上回っていた。基礎的な問題が多く、確実に解答できていた。

特に成果が見られた問題例

3(1)文中の助詞を正しく使う問題。文の構造が正しく捉えられていた。

特に課題が見られた問題例

4(2)地名をローマ字で書く問題。パソコンのローマ字入力をできる児童は多いが、ローマ字を正しく書くことは難しい。

12(2)文の中における主語と述語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する問題。文脈が読み取れていない。

○算数

概要

本校の平均正答率は、府の平均より0.2%下回っていた。正答率が低い問題が多かったが、府の結果と大きな差はなかった。

特に成果が見られた問題例

1(1)わり算を使う問題の場面を理解して立式し、商を求める問題。複数の情報から必要な情報を選択し、立式できている。

特に課題が見られた問題例

2(1)二つの数量の関係を、倍を使って表す問題。くらべる量ともとにする量が混同している。

○理科

概要

本校の平均正答率は、府の平均より2.6%下回っていた。基礎的な内容から復習し、応用問題に活かせるようにする。

特に成果が見られた問題例

1(2)とじこめられた空気の体積やもどろろとする力の問題。空気の性質を理解できている。実際に実験することで知識が定着する。

特に課題が見られた問題例

1(1)直列つなぎと並列つなぎにしたときの豆電球の明るさの違いの問題。直列つなぎ・並列つなぎの知識が定着していない。教科書で学習した内容を応用できていない。

○すくすくウォッチ(教科横断的な問題わくわく問題)

概要

本校の平均正答率は、府の平均より6.7%上回っていた。自分の中にある知識を活用する力がある。

特に成果が見られた問題例

③(3) 大阪府を訪れるすべての人が困らないように、何をするとところかを伝えるピクトグラムを描く問題。府より14.9%高い。自分の発想を記号にしてその工夫を表現できている。

特に課題が見られた問題例

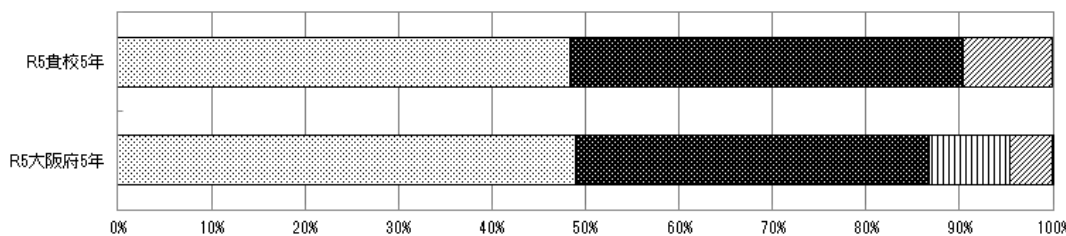
③(1) ピクトグラムを種類ごとに整理した時に、資料をもとに分類の言葉を書く問題。飲食関連のピクトグラムだと捉えられていない児童が多い。語彙数の少なさも課題と考えられる。

○児童アンケート(大阪府の結果と比較して本校の児童の傾向を考察)

◎特に成果が見られたアンケート項目例

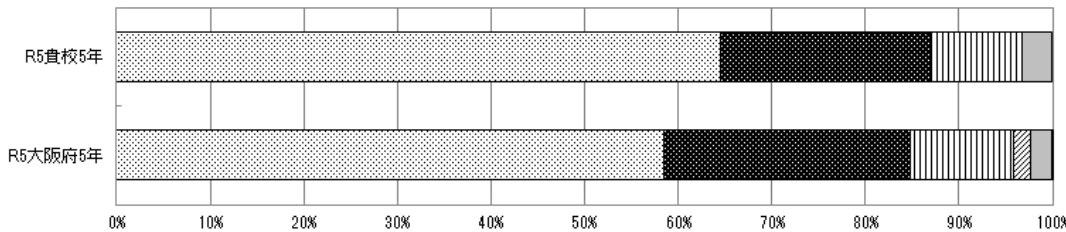
質問番号	質問事項													無回答
1	「自分にはよいところがある」と思う													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5食校5年	48.4	41.9	0.0	9.7	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府5年	48.9	38.0	8.6	4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1

□1. あてはまる ■2. どちらかといえば、あてはまる □3. どちらかといえば、あてはまらない □4. あてはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項													無回答
9	悲しんでいる人を見ると、なぐさめたくなる													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5食校5年	64.5	22.6	9.7	0.0	3.2	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府5年	58.5	26.3	11.0	1.8	2.2	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1

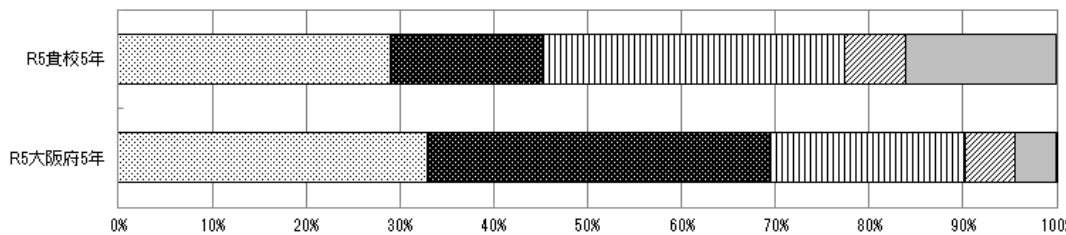
□1. あてはまる ■2. ややあてはまる □3. どちらともいえない □4. ややあてはまらない □5. あてはまらない □その他 □無回答



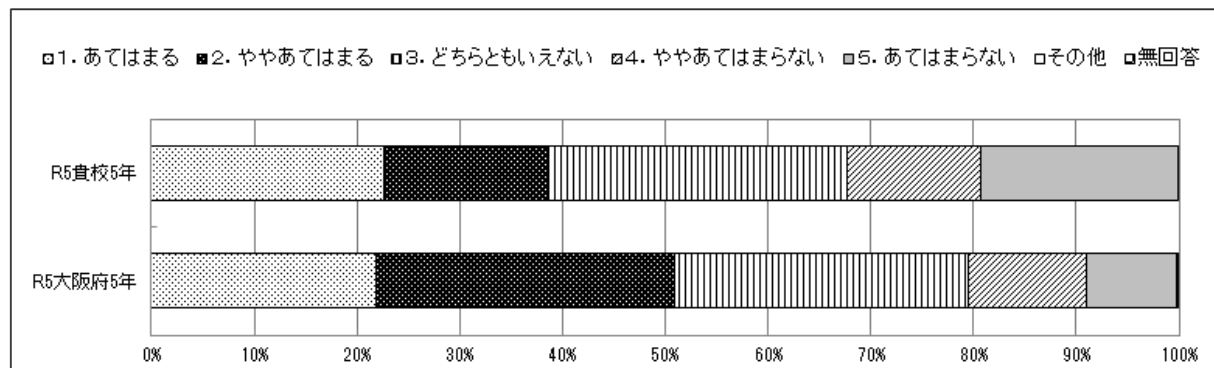
▲特に課題が見られたアンケート

質問番号	質問事項													無回答
12	自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかわかろうとする													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5食校5年	29.0	16.1	32.3	6.5	16.1	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府5年	32.9	36.5	20.8	5.3	4.3	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1

□1. あてはまる ■2. ややあてはまる □3. どちらともいえない □4. ややあてはまらない □5. あてはまらない □その他 □無回答

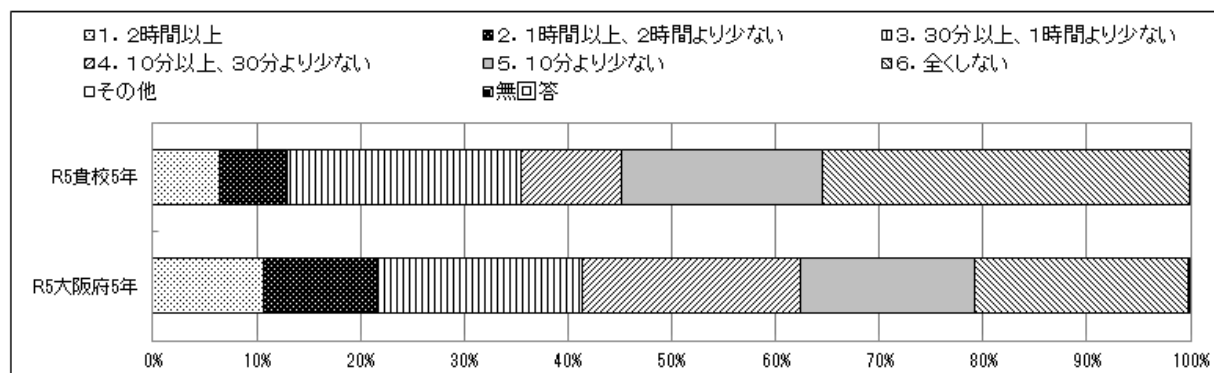


質問番号	質問事項													無回答
25	予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5食校5年	22.6	16.1	29.0	12.9	19.4	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府5年	21.9	29.1	28.5	11.6	8.7	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.2



参考資料

質問番号	質問事項													無回答
69	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか													42,43
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5食校5年	6.5	6.5	22.6	9.7	19.4	35.5	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府5年	10.7	11.1	19.5	21.1	16.8	20.6	-	-	-	-	-	-	0.0	0.2



児童アンケートについて

質問番号(1)では、90.3%の児童が肯定的な回答をしている。府から比べても3.4%高く、自己肯定感が高い学年団と言える。また、(9)のように、思いやりの心を持った児童もたくさんいることが分かる。

一方で、(12)や(25)のように、相手の気持ちのくみ取りや粘り強く取り組む姿勢において府と比べて肯定的な回答の割合が低い。落ち着いて人の話を聞いたり、自分で考えたり調べたりしながら課題解決に向かい、最後まで考え抜く経験を積ませたい。

また、(69)から読書量の少なさも挙げられる。いろいろな本を手に取り、新しい発見や読書の楽しさを味わわせたい。たくさんの良い本に出会うことが、児童の感性や語彙力の成長にもつながっていくと考える。

学校が重点的に取り組んでいくこと

以上のような分析をふまえ、以下のような取組みを進めていきます。

○学ぶ意欲をはぐくむ授業づくり

- ・友だちと意見を交流して考えを深める授業。
- ・条件に沿ってまとめて記述する練習。(要約、作文、ふりかえりなど)
- ・問題文を読み取る工夫。(文や図表などの大事なところに印)
- ・算数科においては、見通し、検算を大事にしていく。
- ・読書活動の充実を図り、語彙力を高める。

○自己肯定感と自己有用感を高める取組み

- ①自らを意欲的に学ぶ力の育成
 - ・タブレットを活用した授業の研究。
 - ・自主学習の推奨と子どもの評価活動による意欲喚起。
- ②リーダーシップの育成
 - ・わくわくまつり等、児童が主体的に企画・運営できる行事の設定。
 - ・異学年集団を活用してのリーダーシップの育成。
- ③他者への貢献力の育成
 - ・高学年の児童による下級生への貢献の機会の設定。
 - ・地域の方の協力への感謝と交流の機会の設定。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

○工夫しながら問題に取り組もう。

問題を読むときには、大切なことを落とさないように印をつけながら読むようにしましょう。答えがどれくらいになるか見通しを持ちましょう。また、ケアレスミスが多いので、見直しをして確かめましょう。

○自分からすすんでチャレンジしよう。

いろいろな方法を試して、自分に合うやり方を探しましょう。分からないことや知りたいことは、まず自分で調べてみましょう。

○人とコミュニケーションをとろう。

自分の思っていることは言葉で表し、人の意見や話は最後までしっかり聞きましょう。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

○基本的な生活習慣

子どもたちが、朝ごはんや睡眠時間、学習時間など家庭での基本的な生活習慣を守れるよう引き続きご協力をお願いします。

○たくさん褒めて認めてあげてください。

家で褒めてもらっている子どもたちが多くいました。引き続き学習面の結果だけでなく、学習の過程や生活の中でもたくさん褒めてあげてください。

○一緒に過ごす時間を大事にしてください。

家の人と一緒に遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりしている子どもも多くいました。家が安心できる場所であることで、子どもたちは学校や社会で様々なことに思いっきり挑戦していくことができます。日頃からのサポートありがとうございます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。